

96. 刑法犯認知件数

(単位:件)

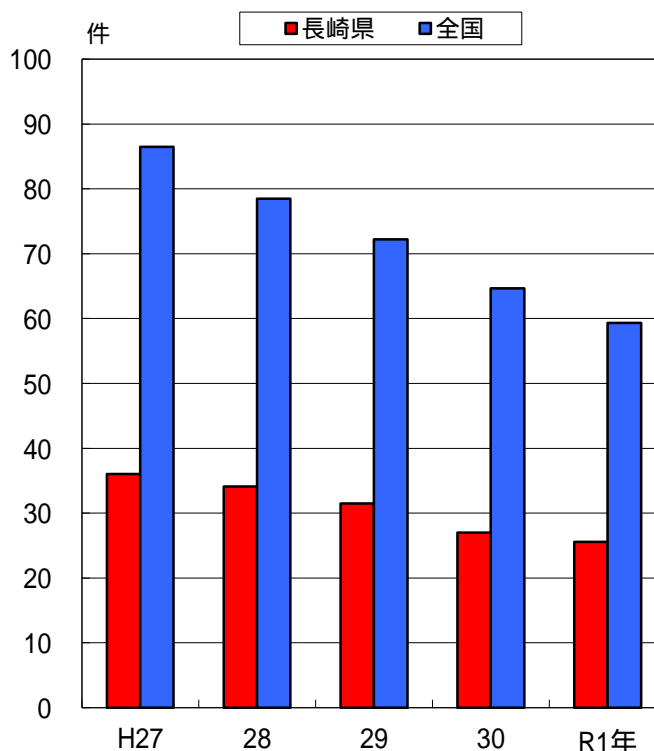
順位	都道府県名	人口1万人当たり 令和元年(2019年)
1	27 大阪府	96.1
2	11 埼玉県	75.5
3	13 東京都	75.2
4	28 兵庫県	73.9
5	8 茨城県	71.0
6	40 福岡県	67.6
7	12 千葉県	66.8
8	23 愛知県	66.1
9	21 岐阜県	64.7
10	10 群馬県	60.2
	全 国	59.3
11	26 京都府	58.6
12	24 三重県	58.0
13	9 栃木県	57.7
14	4 宮城県	56.3
15	38 愛媛県	55.6
16	37 香川県	51.9
17	39 高知県	51.0
18	7 福島県	51.0
19	34 広島県	50.5
20	33 岡山県	49.9
21	29 奈良県	49.7
22	19 山梨県	49.1
23	22 静岡県	49.1
24	15 新潟県	48.3
25	25 滋賀県	47.9
26	30 和歌山県	47.2
27	14 神奈川県	45.4
28	1 北海道	45.0
29	47 沖縄県	44.8
30	16 富山県	43.2
31	36 徳島県	42.7
32	41 佐賀県	41.7
33	20 長野県	41.5
34	18 福井県	40.8
35	17 石川県	39.6
36	35 山口県	38.3
37	45 宮崎県	37.2
38	43 熊本県	37.2
39	31 鳥取県	36.5
40	46 鹿児島県	36.0
41	32 島根県	34.3
42	6 山形県	30.4
43	2 青森県	28.0
44	44 大分県	26.6
45	42 長崎県	25.6
46	3 岩手県	25.0
47	5 秋田県	22.4

全国で3番目に少ない長崎県

令和元年の本県の刑法犯認知件数は3,394件で前年を228件下回った。

本県、全国ともに減少傾向にある。

刑法犯認知件数(人口1万人当たり)の推移



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

警察庁「犯罪統計」
総務省「人口推計」

調査時点

令和元年

算出方法等

刑法犯認知件数(人口1万人当たり) =

$$\frac{\text{刑法犯認知件数}}{\text{総人口}} \times 10,000$$

97. 交通事故発生件数

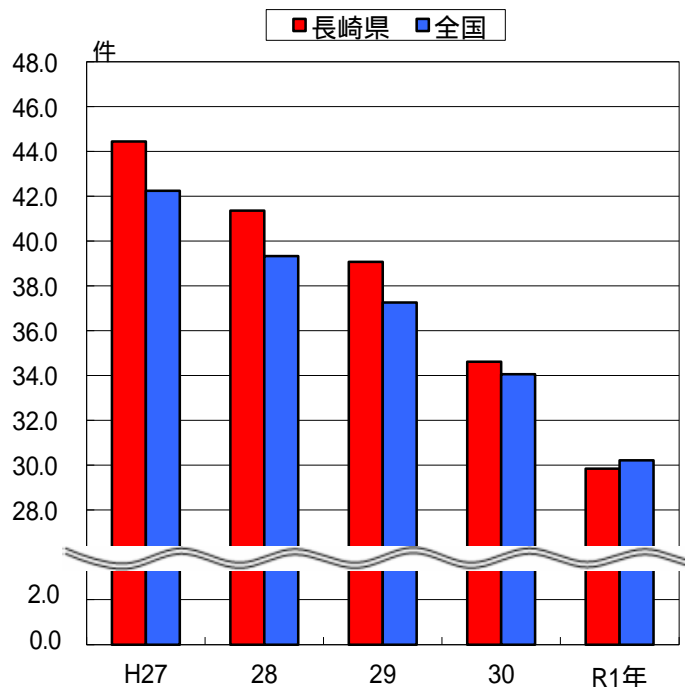
(単位:件)

順位	都道府県名	人口1万人当たり 令和元年(2019)
1	22 静岡県	68.3
2	41 佐賀県	61.2
3	45 宮崎県	60.8
4	10 群馬県	60.4
5	40 福岡県	52.7
6	37 香川県	46.9
7	28 兵庫県	41.6
8	23 愛知県	41.0
9	6 山形県	39.0
10	19 山梨県	36.5
11	27 大阪府	35.0
12	36 徳島県	33.8
13	20 長野県	30.3
14	46 鹿児島県	29.3
15	42 長崎県	29.2
16	11 埼玉県	29.2
17	47 沖縄県	28.2
18	12 千葉県	26.4
19	44 大分県	26.4
20	25 滋賀県	25.8
21	8 茨城県	25.7
22	14 神奈川県	25.4
23	29 奈良県	24.7
24	33 岡山県	24.6
25	4 宮城県	24.4
26	9 栃木県	23.3
27	43 熊本県	23.2
28	35 山口県	23.2
29	16 富山県	22.3
30	13 東京都	22.2
31	34 広島県	22.1
32	2 青森県	21.8
33	39 高知県	21.8
34	17 石川県	21.0
35	7 福島県	20.8
36	38 愛媛県	20.6
37	21 岐阜県	20.4
38	24 三重県	20.3
39	26 京都府	19.9
40	30 和歌山県	19.7
41	1 北海道	18.0
42	3 岩手県	15.7
43	15 新潟県	15.4
44	5 秋田県	15.2
45	18 福井県	15.0
46	31 鳥取県	14.2
47	32 島根県	13.5

全国を下回る本県の交通事故

本県の令和元年の人口1万人当たり交通事故発生件数は、29.2件(全国30.1件)で全国15位となっている。

交通事故発生件数(人口1万人当たり)の推移



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

県警察本部「交通統計」
総務省「人口推計」

調査時点

令和元年

算出方法等

交通事故発生件数(人口1万人当たり) =
交通事故発生件数 ÷ 総人口 × 10,000

備考

「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定されている道路上において、車両(自動車・原動機付自転車・軽車両・トロリーバス)、路面電車及び列車の交通によって起こされた死亡又は負傷を伴った事故(人身事故)をいう。

98. 交通事故死者数

(単位:人)

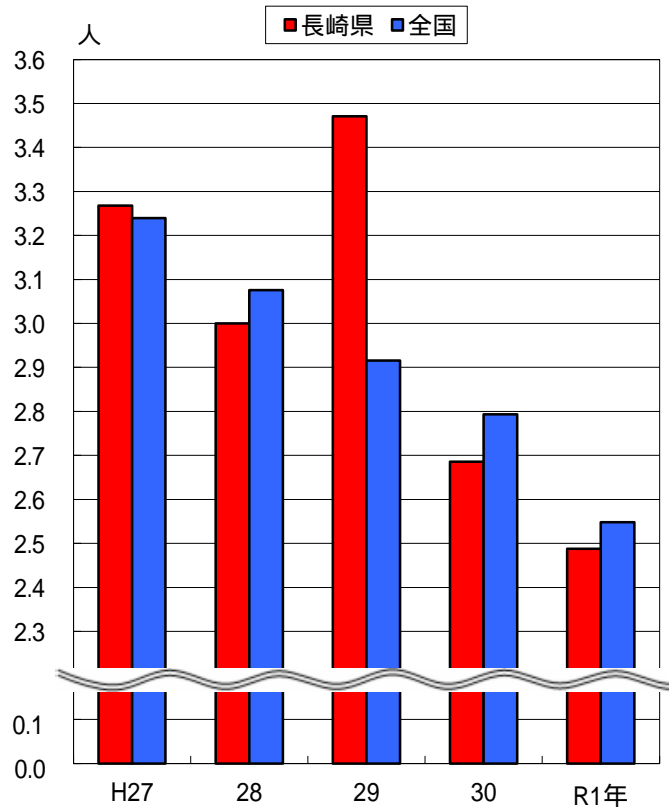
順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和元年(2019)
1	36 徳島県	5.6
2	31 鳥取県	5.6
3	37 香川県	4.9
4	39 高知県	4.7
5	9 栃木県	4.2
6	21 岐阜県	4.2
7	24 三重県	4.2
8	15 新潟県	4.2
9	41 佐賀県	4.2
10	5 秋田県	4.1
11	18 福井県	4.0
12	25 滋賀県	4.0
13	33 岡山県	4.0
14	43 熊本県	3.9
15	46 鹿児島県	3.8
16	8 茨城県	3.7
17	32 島根県	3.7
18	3 岩手県	3.7
19	45 宮崎県	3.6
20	44 大分県	3.6
21	30 和歌山県	3.6
22	35 山口県	3.3
23	7 福島県	3.3
24	16 富山県	3.3
25	20 長野県	3.2
26	10 群馬県	3.1
27	38 愛媛県	3.1
28	19 山梨県	3.1
29	6 山形県	3.0
30	2 青森県	3.0
31	1 北海道	2.9
32	4 宮城県	2.8
33	22 静岡県	2.8
34	12 千葉県	2.7
35	17 石川県	2.7
36	34 広島県	2.7
37	29 奈良県	2.6
38	全 国	2.5
39	28 兵庫県	2.5
40	42 長崎県	2.5
41	47 沖縄県	2.5
42	26 京都府	2.1
43	23 愛知県	2.1
44	40 福岡県	1.9
45	11 埼玉県	1.8
46	27 大阪府	1.5
47	14 神奈川県	1.4
	13 東京都	1.0

交通事故死者数は2.5人

本県の令和元年交通事故死者数は、33人で前年より3人減少した。全国では3,215人で前年より317人減少した。

人口10万人あたりの交通事故死者数は、本県は2.5人で、全国39位となっている。

交通事故死者数(人口10万人当たり)の推移



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

県警察本部「交通統計」

調査時点

令和元年

算出方法等

交通事故死者数(人口10万人当たり) =
交通事故死者数 ÷ 総人口 × 10万

備考

交通事故死者数は、交通事故の発生後24時間以内に死亡した人の数。

99. 火災発生件数

(単位:件)

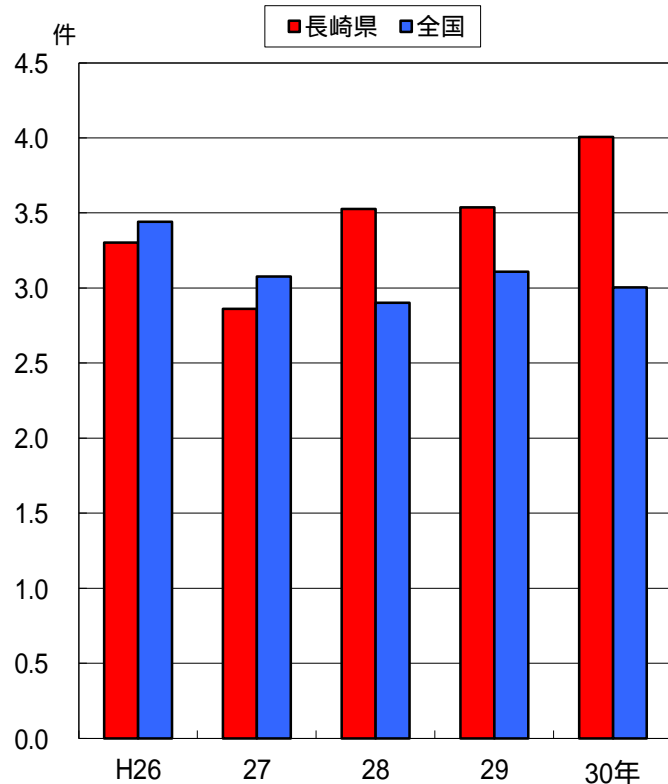
順位	都道府県名	人口1万人当たり 平成30年(2018)
1	20長野県	4.56
2	32島根県	4.54
3	39高知県	4.36
4	19山梨県	4.27
5	24三重県	4.12
6	45宮崎県	4.11
7	8茨城県	4.02
8	43熊本県	4.01
9	42長崎県	4.01
10	31鳥取県	3.98
11	33岡山県	3.96
12	41佐賀県	3.80
13	35山口県	3.78
14	46鹿児島県	3.75
15	36徳島県	3.74
16	10群馬県	3.67
17	21岐阜県	3.63
18	2青森県	3.61
19	30和歌山県	3.59
20	37香川県	3.51
21	7福島県	3.39
22	29奈良県	3.39
23	9栃木県	3.27
24	44大分県	3.25
25	47沖縄県	3.24
26	28兵庫県	3.21
27	1北海道	3.19
28	34広島県	3.13
29	3岩手県	3.09
30	12千葉県	3.08
31	38愛媛県	3.04
	全 国	3.00
32	5秋田県	2.97
33	13東京都	2.91
34	25滋賀県	2.87
35	22静岡県	2.86
36	4宮城県	2.81
37	6山形県	2.80
38	23愛知県	2.76
39	40福岡県	2.65
40	18福井県	2.57
41	15新潟県	2.54
42	11埼玉県	2.48
43	27大阪府	2.30
44	26京都府	2.13
45	17石川県	2.13
46	14神奈川県	2.06
47	16富山県	1.62

火災発生件数は3年ぶりに増加

平成30年中の火災発生件数を見ると、本県は537件、全国では37,981件であった。

また、人口1万人当たりでの火災発生件数は、全国の3.00件に対し、本県は4.01件と全国を上回った。

火災発生件数(人口1万人当たり)の推移



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

総務省消防庁「消防白書」

調査時点

平成30年

算出方法等

火災発生件数(人口1万人当たり) =
火災発生件数 ÷ 総人口 × 10,000

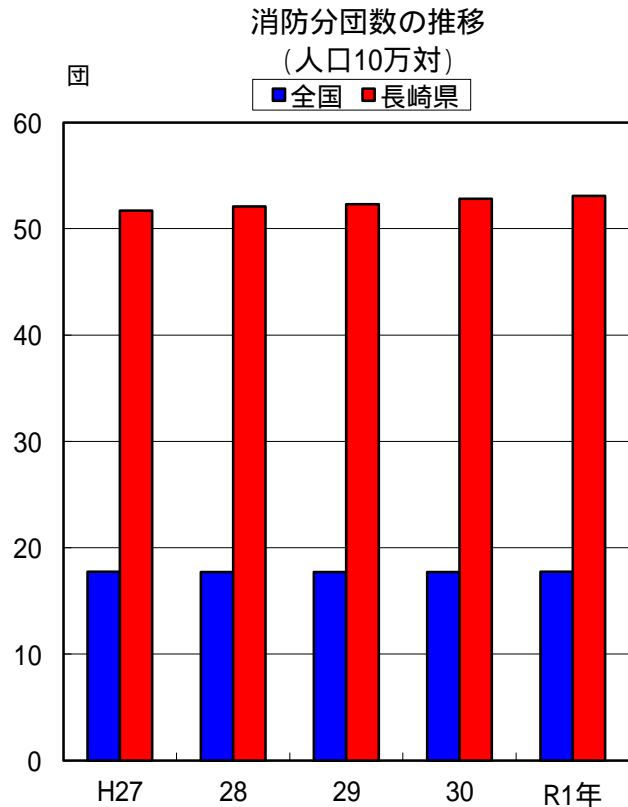
100. 消防分団数

(単位: 団)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和元年(2019)
1	2 青森県	62.3
2	36 徳島県	58.2
3	42 長崎県	53.1
4	32 島根県	47.9
5	31 鳥取県	41.2
6	39 高知県	40.0
7	46 鹿児島県	39.9
8	5 秋田県	38.4
9	44 大分県	37.6
10	3 岩手県	37.1
11	8 茨城県	36.1
12	43 熊本県	34.7
13	30 和歌山県	33.2
14	16 富山県	30.9
15	18 福井県	30.7
16	6 山形県	30.4
17	7 福島県	30.4
18	20 長野県	29.8
19	35 山口県	27.7
20	38 愛媛県	27.5
21	19 山梨県	27.3
22	41 佐賀県	25.7
23	15 新潟県	25.6
24	37 香川県	24.8
25	24 三重県	24.5
26	33 岡山県	23.6
27	21 岐阜県	22.6
28	29 奈良県	22.5
29	28 兵庫県	22.4
30	17 石川県	22.0
31	10 群馬県	21.6
32	4 宮城県	20.9
33	1 北海道	20.2
34	34 広島県	19.5
	全 国	17.7
35	26 京都府	17.0
36	25 滋賀県	15.9
37	22 静岡県	15.7
38	9 栃木県	15.0
39	40 福岡県	14.1
40	45 宮崎県	13.7
41	12 千葉県	12.5
42	11 埼玉県	8.4
43	47 沖縄県	8.2
44	23 愛知県	7.9
45	14 神奈川県	5.8
46	13 東京都	5.2
47	27 大阪府	4.6

全国3位の長崎県

令和元年の本県の消防分団数は704団で、人口10万人当たりでは53.1団と、全国を大きく上回っている。



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

総務省消防庁「消防白書」
総務省「人口推計」

調査時点

平成31年4月1日(消防分団数)
令和元年10月1日(総人口)

算出方法等

消防分団数(人口10万人当たり) =
消防分団数 ÷ 総人口 × 10万